

第 39 回 共同実施事業管理委員会 東京都作業部会
議事要旨

日時：令和元年 7 月 23 日（火）16:30～17:30

会場：東京都庁第一本庁舎 33 階南側 E 会議室

1 開会

2 議事

(1) 選手村運営施設の建物維持管理業務委託について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の 4 点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・資料 2 に関して、大会期間前後と大会期間中とで、人員配置及び常駐時間の精査により効率化を図るという説明があったが、具体的にはどのような効率化を図ったのか。
⇒ 4 月末にビレッジプラザ、メインダイニングの引き渡しを受けるまではポスト数を絞る。大会期間中に関してのみ 24 時間対応する、というように濃淡をつけている。
- ・常駐技術員による点検と防災管理員による点検について、必要な資格が異なるということか。
⇒ そのとおり。
- ・常駐技術員の資格というのはどのようなものか。
⇒ 最低限、電気主任技術者が必要になる。加えて、必要な建築、電気設備、機械設備などの有資格者を確保し、配置してもらう。
- ・契約期間は 10 月 31 日までの予定だが、法律上ここまでは組織委員会が建物を管理するという扱いになるのか。
⇒ 工事に入るタイミングで、実際には工事業者が管理していくことになる。現在の契約期間は予定であり、引き渡しのタイミングを決めたいうえで、最終的な契約期間が定まる。
- ・どのような事業者の応札を見込んでいるのか。
⇒ ビル関係のメンテナンス事業者。

(2) NESAに基づく機器発注について（第6回）

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・資料4の「(参考) 平準化して納品する機器の発注状況」において「一部発注」としている機器の今後の発注見込はどうなっているか。
⇒基幹となる機器は、基本的に競技会場や練習会場、事務所のように使用する非競技会場といったベニューの数に依存する。たとえば、ルーターやファイアウォールなどは、ベニューの数が変わらなければ増えることはないが、テクノロジーFAが現在把握していないベニューが増えるような例外的な場合は、追加発注が必要となる可能性がある。
- ・これまでに納品された機器のキitting作業などは順調に進んでいるのか。
⇒第1回、第2回で発注した機器をいくつかのテストイベントに使用している。ケーブルやシステムの相性などほかの部分での課題はあるが、NESAで発注した機器に関するトラブルは特に生じてはいない。

(3) 競技会場等における家具・什器・備品の調達について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・大量発注を行うため製作期間を確保する必要があり、早急に契約締結を行いたいということだが、いつ頃の納品を予定しているのか。
⇒搬入期間の5月、6月を中心に納品してもらおう。それよりも前に納品が必要な会場もある。
- ・パートBも搬入のタイミングは同じだとすると、パートBの製作期間が短くなるが大丈夫なのか。
⇒同じ時期に納品をしてもらうが、期間が短くなるのはやむを得ない。できるだけ早く手続を進めたい。
- ・運用等の変更により発注数量の増減が予想されるということだが、数量が確定しない中で、請負事業者が数量を見込んで製作するのは難しいのではないのか。
⇒単価契約として、上限数を設定している。

- ・会場ごとに備え付けの什器があると思うが、それらは活用しないのか。
⇒現地調査なども行い、可能な限り活用する予定である。

3 意見交換
特になし

4 閉会